

### (3) 4年生 『リズムを作ろう』



#### ①全体計画

- ・スマイルブロックを使って、リズムづくりをしてみよう（1時間）

#### ②授業の概要

4年生はこれまでに、音楽の時間に節作りやリズム作りを経験し、音符の長さや小節の関係を理解している。そこで、それらを生かし、プログラミングの中で逐次処理やくり返しの基本となる操作方法を体験させた。

- ①他の音楽の時間に作成したリズムを、スマイルブロック上で再現し、1小節の中に入る四分音符の数が決まっていることを確認する。



- ②スマイルブロックは入るブロックの数が目で見て分かるので、1小節の拍を考えながら、全員がすぐに、自分たちの作ったリズムを入れることができた。



- ③同じリズムをくり返す際、手作業で50回小節を入力することをやり始めた児童と「くり返す」というブロックを使い、わずか3秒でできる事に気付いた児童がいた。

そこで、同じ演奏なのに、登場するブロックの数は大きく違うのはなぜか、という問いかけにより、「くり返す」という処理のよさを全員で共有することができた。



- ④その後、子供たちは楽譜上のくり返しの意味と、プログラミングのくり返しが同じ事だということを理解し、リズム作りを通してプログラミングでいうところのの一つ一つの要素を細かく見いだすことにつながった。

また、先にできた子供が、他の子供に成功例を伝えながら、自分の発見を共有する喜びを感じさせることができた。

